



高森きみこ議会報告

高森きみこ事務所
台東区東上野 3-7-9-303
TEL 3831-4608

企画総務委員会委員長 子育て・若者支援特別委員会委員
交通対策・地区整備特別委員会委員 自由民主党台東総支部女性部長

新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。この間お亡くなりになられた方、闘病中の方に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、医療・介護など現場で頑張っている皆様へ感謝の気持ちで一杯です。「見えない敵ウィルス」の影響は私たちの体のみならず、心や家計、営業、仕事、学習など全般に及び、これまでに経験したこのない事態となっています。国や地方公共団体は生活や経済を支える緊急対策を実施し、私たち一人一人は、感染予防対策を新しい日常と考え、3密を避け、マスク・手洗い、検温、消毒を実行しています。当初の頃と比べると、ウィルスの特性や治療の方法も分かり始め、対策も進み感染者の数は減少傾向ですが油断できません。困難な状況は弱い立場の方により大きな歪みとなることも考えられます。相談や支援体制を整え皆様の声が施策に反映されるよう頑張っています。

令和2年台東区議会第三回定例会 一般質問を行いました。

質問要旨と答弁

Q1、区民の生命と健康を守るための今後の取り組みについて

- ① インフルエンザ流行期を控え国は、発熱患者が医療機関を受診する際の体制整備を求めている。区民の発熱時の不安を解消する為、相談窓口の名称を改め、適切な情報発信に努めるべきと考えるかどうか？また、PCR 検査の体制についても自動検査機器の購入を含め検討すべきと考えるかどうか？
- ② 新型コロナウイルスから「区民の生命と健康を守り抜く」ためにも、課題を共有し、推進体制の強化を図り、これまでの取り組みや経験を大きく前進させるべきと考える。中・長期的視野で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう体制について問う。

- A 区長：①発熱等の症状を生じた区民がかかりつけ医にまずは電話で相談、検査を受ける体制づくりを医師会などの関係機関と協議しており速やかに整備する。相談窓口の名称は区民が迷うことがないように改める。ホームページ等の情報発信も分かり易くする。PCR 検査は都や民間の検査機関を活用している。必要な検査数を確保しているので自動検査機器の導入は需要や動向を注視し検討する。
- ② これまでも医療提供 体制の確保、経営相談、資金繰り支援、生活支援を行ってきた。ウィズコロナの時代においても必要な対策を一層進める為、ご指摘のとおり体制の更なる強化をはかる。

Q2、今後の区政運営について

- ① 新型コロナウイルス感染症は、区民生活に大きな打撃を与えており、本区の財政にも深刻な影響があると思うが、財政基盤を維持する為に全庁挙げて、的確な対応が必要である。令和3年度の予算編成に向け、どのような方針で臨むのか？
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、区長が掲げた3つの柱に基づく取り組みや廃止・休止する事業については区民の理解が必要であり、将来の展望を示す行政計画は重要な役割を持っている。行政計画の改訂に対する基本的考え方について問う。

- A 区長：①来年度以降大幅な減収が見込まれる、地域の活性化、区役所の改革を進める為にも持続可能な財政基盤を堅持することが不可欠である。そのため緊急性・重要性の観点から事業の休止や廃止等の見直しを徹底する。既定事業は令和2年度予算のマイナス10%の範囲で見積る、施設の建設・大規模改修等は時期の見直しや経費の縮減を図る。基金や起債の積極的活用により頼らざるを得ない状況にあり、中・長期的な視点に立ち慎重に対応していく。



②ご指摘のとおり区政運営の3つの柱に基づく取り組みや休止や縮小、廃止せざるを得ない事業について区民の皆様を知って頂き、計画的区政運営は重要であると認識している。また、手続きのオンライン化やキャッシュレス化の推進などスピード感を持って進めており区政運営は変革の時に入った。現行の行政計画については、緊急性や重要性の観点で見直しを進めている。次期行政計画についても今後の社会経済状況やこの間の取り組みの成果を踏まえて策定に取り組んでいく。



3、性犯罪・性暴力の根絶について

①国は今年6月に「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を決定し令和2年度から3年間を「集中強化期間」とした。女性への暴力の根絶は「台東区男女平等推進行動計画」の主要なテーマである。性犯罪・性暴力の被害を受けた時に相談できるワンストップ支援センターの周知やその根絶に向けた区民への啓発をどのように進めていくのか問う。

②学校における健康教育、交通安全教育、防災教育、と同じように小さいころから「水着で隠すようなところは他人に見せない、触らせない」というように具体的に教え、性犯罪・性暴力から身を守る「生命の安全教育」が必要と考える。教育実践について教育長の所見を問う

A 区長：①区ではこれまで区民参加を得て開催している「男女平等推進フォーラム」やリーフレット配布でワンストップ支援センターを周知し、講座やパネル展であらゆる暴力の防止について啓発している。今後は動画の配信や区公式 LINE など SNS の積極的活用により性犯罪・性暴力の根絶に努める

A 教育長：②子供たちが性犯罪や性暴力の正しい情報を認識し、予防できるように、自分の身を守る事の重要性や嫌なことをされたら身近にいる信頼できる大人に相談することの必要性について、さらなる指導の充実を図っていく。

台東区では子育て家庭の支援策を充実しています。
待機児童0を目指し保育所の整備を毎年進めています。

令和3年4月1日開設予定の保育所をご紹介します。

- 1) 認可保育所(仮称) さくらさくみらい 下谷三丁目9番
定員 78名(0~5歳)
- 2) 認可保育所(仮称) さくらさくみらい 蔵前一丁目7番
定員 65名(1~5歳)
- 3) 小規模保育所(仮称) ベベ・ア・パリ保育園台東三丁目34-5
島田ビル1階 定員 16名(1・2歳)



これまでの開設状況は、次の様に毎年増加しています

	平成 27.4.1	28年	29年	30年	元年	R2.4.1 現在
認可保育所	12園⇒	16園	17園	21園	26園⇒	29園
小規模保育所	5園⇒	7園	8園	11園	13園⇒	13園
家庭的保育事業			5園	6園	⇒	6園

- ★高齢者インフルエンザ予防接種(無料)65歳以上の方にお知らせが郵送されています。予防が大切!
- ★子供のインフルエンザ予防接種は区が1回2,300円を助成しています。H17.4.2~R2.7.1生まれ区内協力医療機関で(要予約) 差額は自己負担 対象者には予診票が郵送されています。



★台東区妊婦等応援特別給付金(補正予算)

特別定額給付金は基準日令和2年4月27日でした。この時お母さんのお腹にいた子も世帯の一員として、台東区は10万円を差し上げることを決めました。申請書は10月末に郵送の予定です。給付費170000千円事務費5991千円

ご意見ご要望は高森きみこ事務所までお願いします [HP 高森きみこ](#) 🔍検索